

---

# 公的個人認証を利用したeKYCソリューション

---



## 公的個人認証を利用したeKYCソリューションの概要

3stepで本人確認を完結し、利用者様の利便性向上・事業者様の業務コストを低減を実現します

### 導入効果

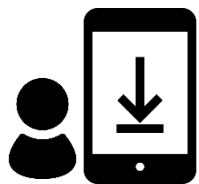
- ・ J-LISにより本人認証を行うため、**事業者様の本人確認業務が不要**になります。
- ・ オンラインで完結するため**郵送業務・手続きが不要**になり、郵送コストの削減、顧客申込手間を解消します。
- ・ オンライン申込における**なりすましや改ざんを防止**します。
- ・ オンライン完結のため、**サービスの即時利用が可能**になります。
- ・ 基本4情報（氏名・住所・生年月日・性別）のデータ取得・入力フォームへのプリセットにより申込者の**必要情報入力負荷を軽減**します。

### フローイメージ

STEP1 一般利用者様

STEP2 一般利用者様

STEP3 SP事業者様



スマホにアプリをダウンロード



スマホにマイナンバーカードをかざして、暗証番号を入力

「署名用電子証明書」を活用



本人確認完了済みデータを業務利用  
(例 | 口座開設、ユーザ登録)



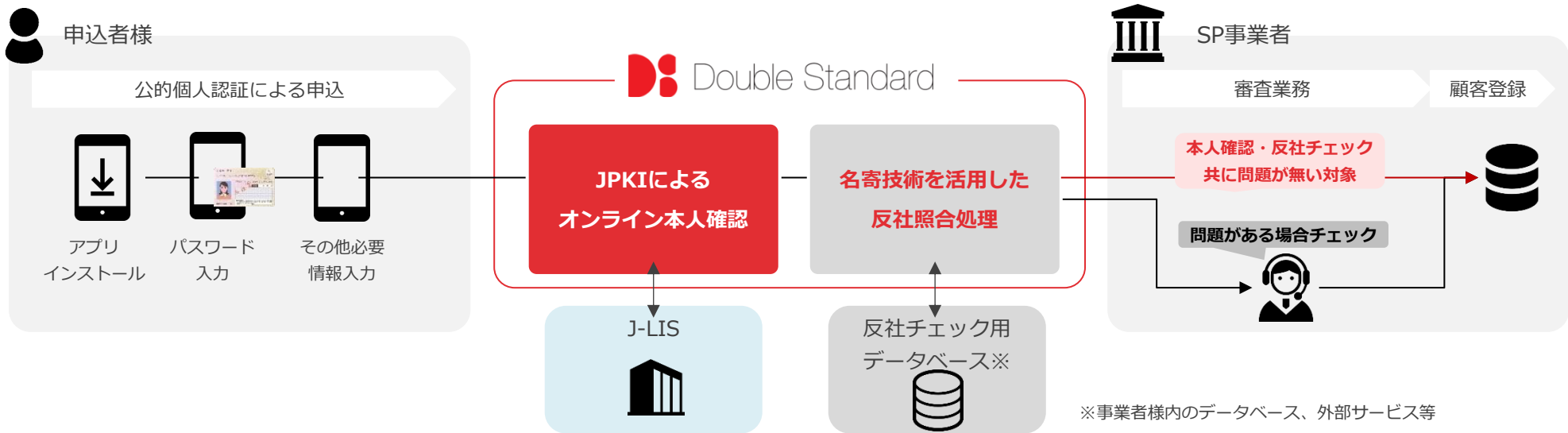
## 公的個人認証サービス(JPKI)に関するユースケース

口座開設申込時の本人確認及び反社チェックの自動化を実現します

### ユースケース概要

公的個人認証サービス（JPKI）の利用による本人確認業務の自動化と、反社チェックデータベースとの自動照合により、本人確認及び反社チェック業務を自動化することで、他のeKYC方式から、さらに申込手続きにかかるSP事業者の業務負荷を大幅低減

### 利用プロセスイメージ



### サービス利用によるポイント・メリット

**P02の導入効果に加え、SP事業者の顧客登録にかかる業務を自動化し、業務全体の負荷を大幅低減**

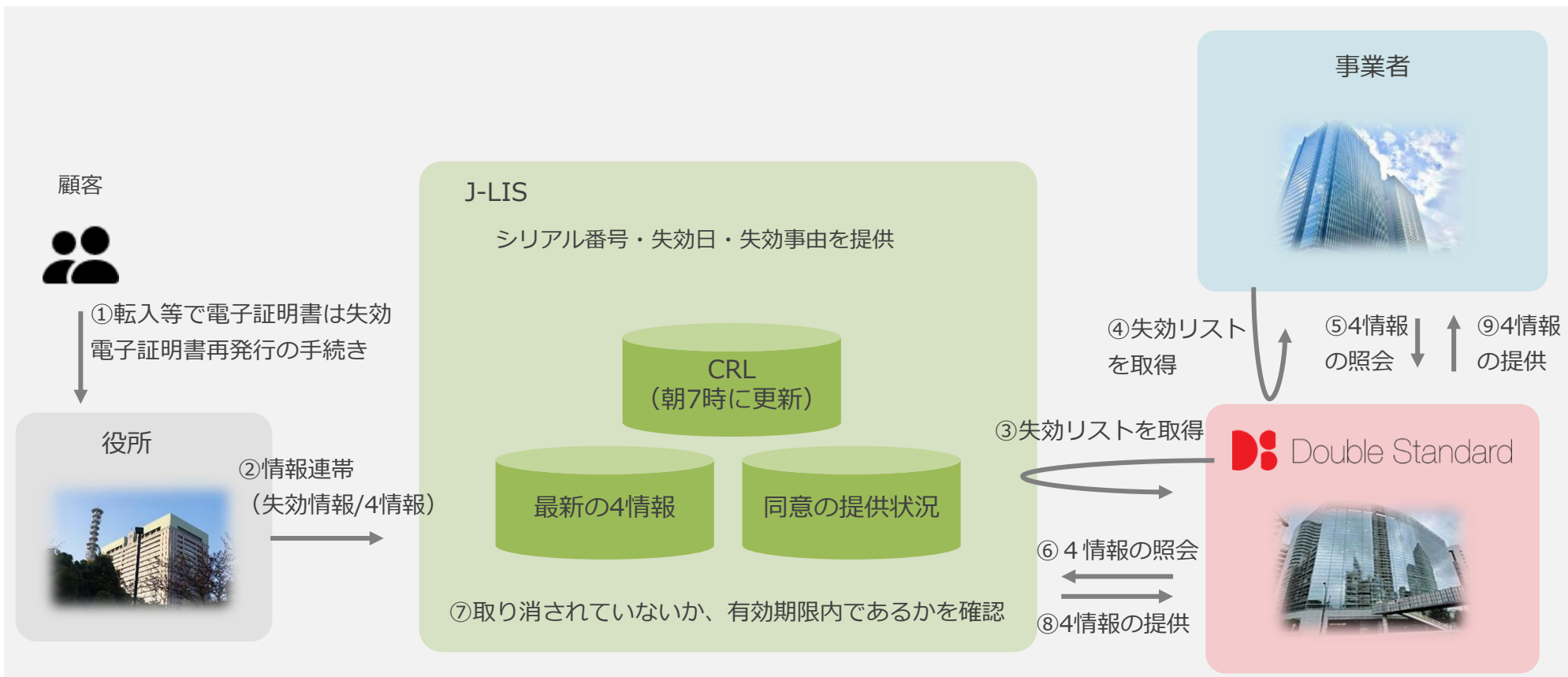
—— **公的個人認証サービスに関連する機能について** ——

## 基本4情報提供

利用者の最新の基本4情報（氏名、住所、生年月日、性別）」を取得することが可能になります

### 導入効果

- 最新の基本4情報を取得できるようになることで、これまで郵送やメール等に対応していた現況確認が自動化され、**効率的な継続的顧客管理**を実現することができます。



<引用>デジタル庁 公的個人認証サービスを利用した最新の利用者情報(4情報)提供サービス  
[https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/3f10dd8b-8c2a-4585-9cdc-674ad2112731/d16c7e61/20230404\\_policies\\_mynumber\\_private-business\\_reference\\_01.pdf](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/3f10dd8b-8c2a-4585-9cdc-674ad2112731/d16c7e61/20230404_policies_mynumber_private-business_reference_01.pdf)

## App Clip

iPhoneユーザーはアプリのインストールなしに公的個人認証サービスをご利用いただけます

### 導入効果

- ユーザーは、アプリを**インストールする手間が省ける**ため、手軽に公的個人認証を行うことができます。
- 事業者はユーザーの負担軽減を通じて、**サービス離脱防止への効果**が期待できます。

